第６回調査結果

１．調査の概要

（1）調査期間　　平成30年10月25日から11月8日まで

（2）調査対象者数　　623人

（3）回答者数　　559人

（4）有効回答率　　89．7%

２．調査テーマ

①「家庭ごみ」について

②「住宅用火災警報器」について

③「アイランドシティ」について

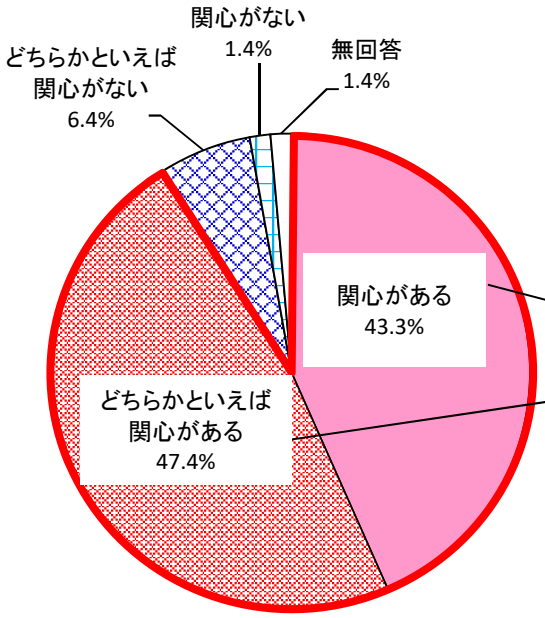
④「ユニバーサル都市・福岡」について

※市政アンケート調査 実施後アンケート

①「家庭ごみ」について（N=559）

※『　』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの。
例：『関心がある』＝「関心がある」+「どちらかといえば関心がある」

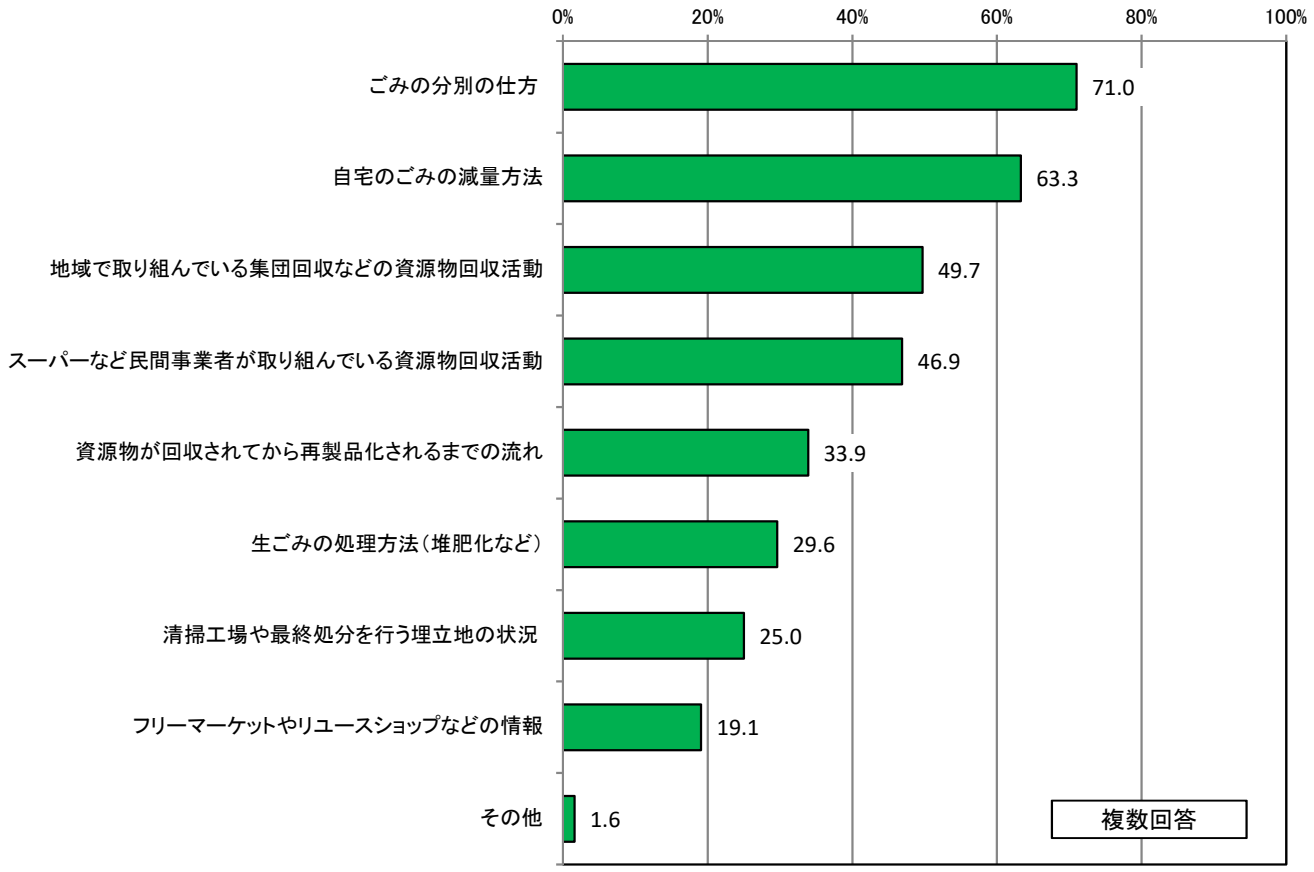
≪ごみ減量・リサイクルへの関心度≫



『関心がある』と回答した方が90.7%となりました。

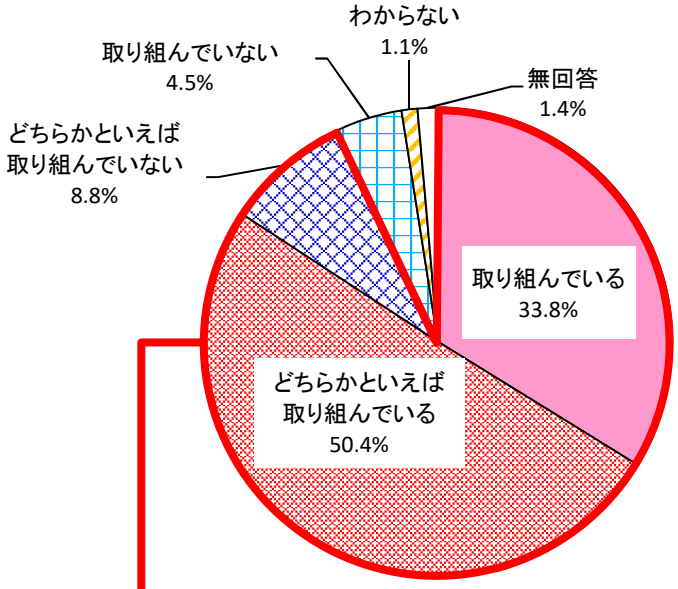
『関心がある』
90.7%

≪どのようなことに関心があるか≫（n=507）

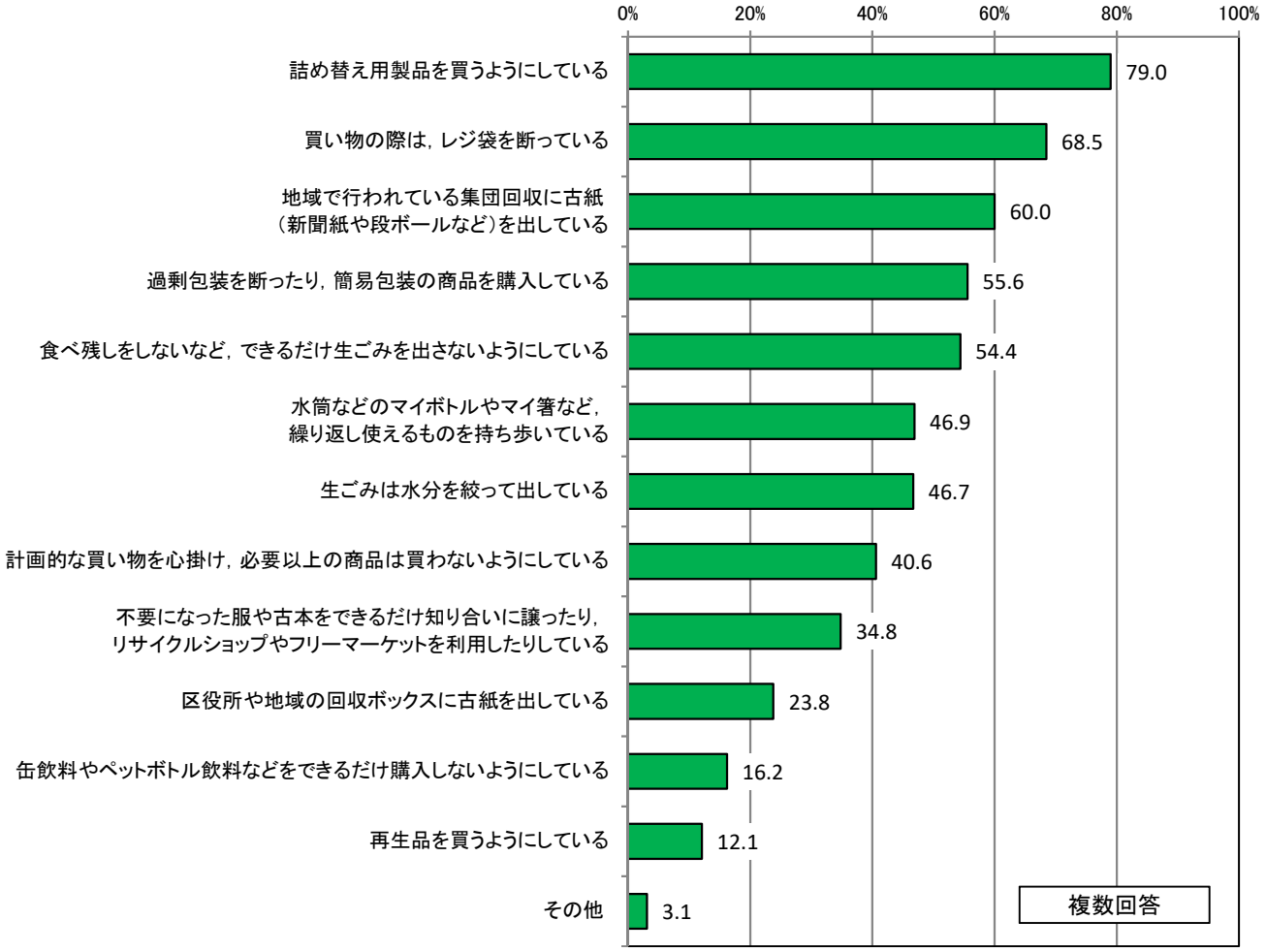


関心のある内容は「ごみの分別の仕方」が71.0%と最も多く，次いで「自宅のごみの減量方法」が63.3%，「地域で取り組んでいる集団回収などの資源回収活動」が49.7%となりました。

≪最近1年間，ごみ減量・リサイクル（3R）に取り組んでいるか≫

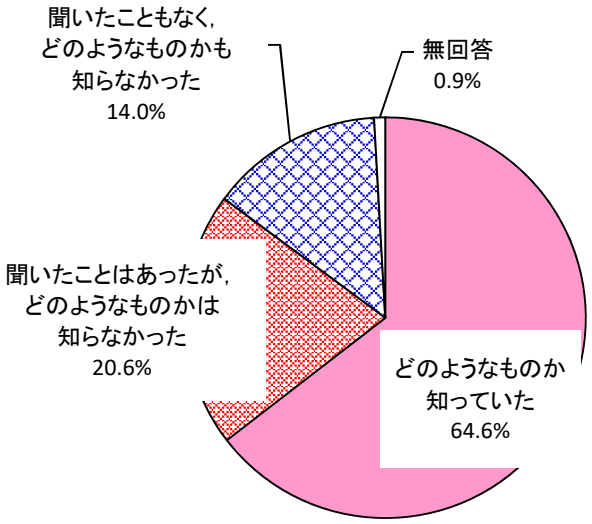


≪ごみ減量・リサイクル（3R）のためにどのようなことに取り組んでいるか≫（n=520）

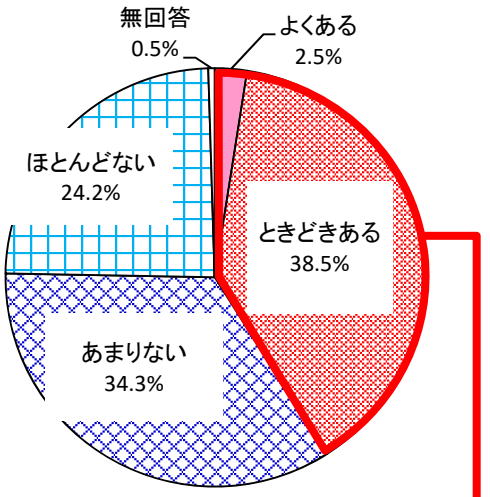


ごみ減量・リサイクルのための取り組みとしては，「詰め替え用製品を買うようにしている」が79.0%と最も多く，次いで「買い物の際は，レジ袋を断っている」が68.5%，「地域で行われている集団回収に古紙（新聞紙や段ボールなど）を出している」が60.0%となりました。

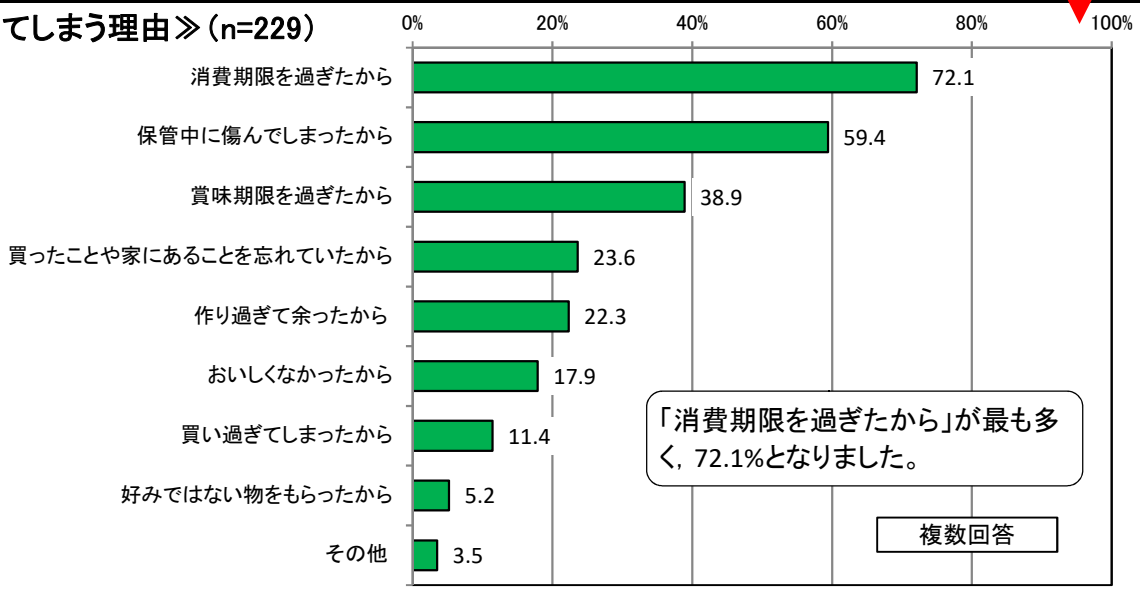
≪「食品ロス」という言葉の認知度≫



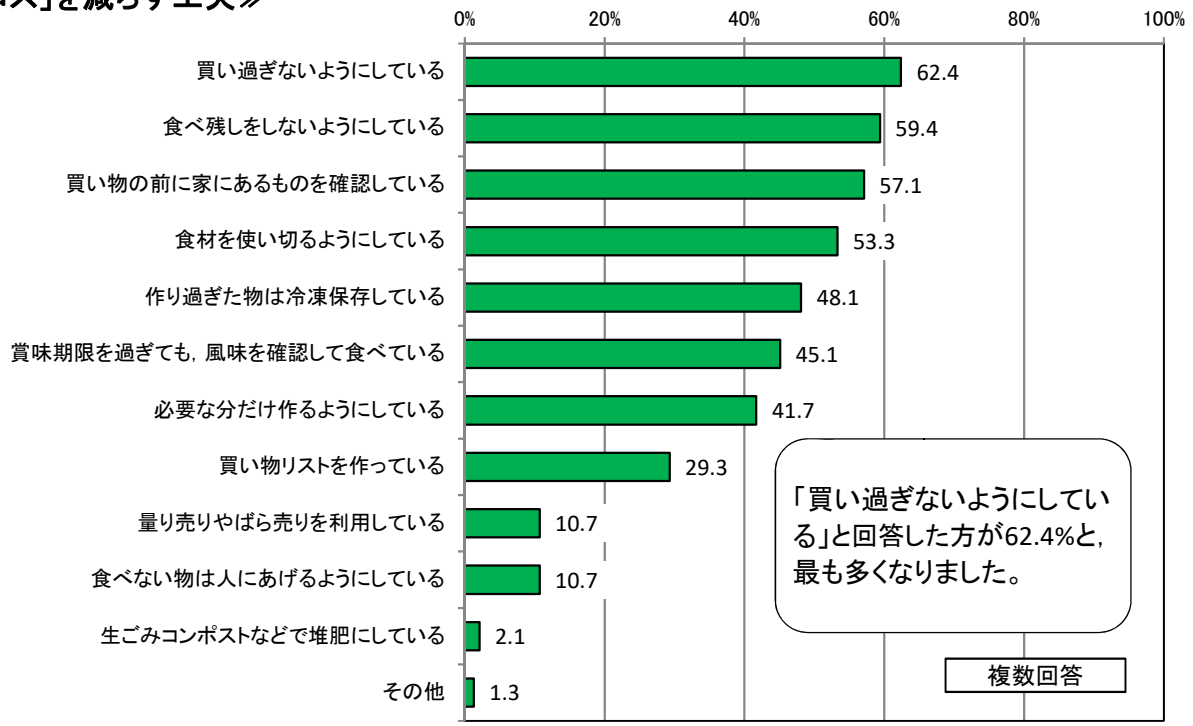
≪まだ食べられる食品や本来は食べられたはずの食品を捨ててしまうことがあるか≫



≪食品を捨ててしまう理由≫（n=229）

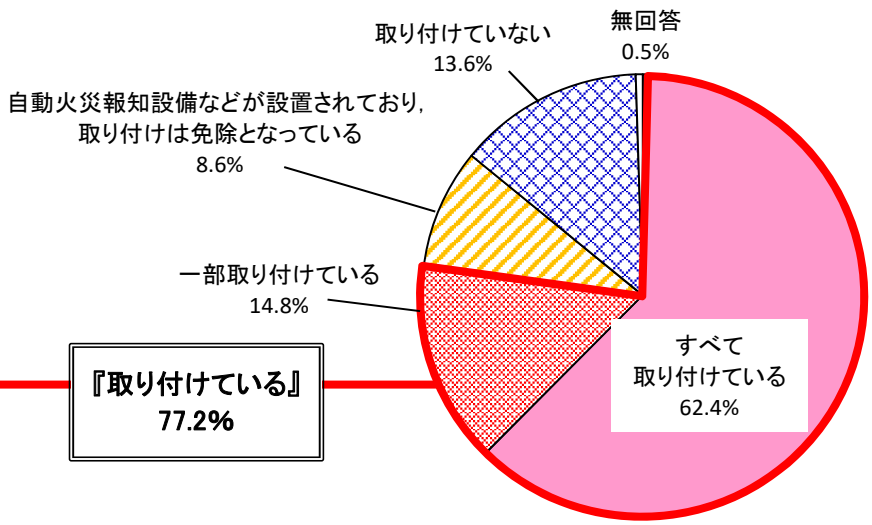


≪「食品ロス」を減らす工夫≫



②「住宅用火災警報器」について（N=559）

≪住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けているか≫

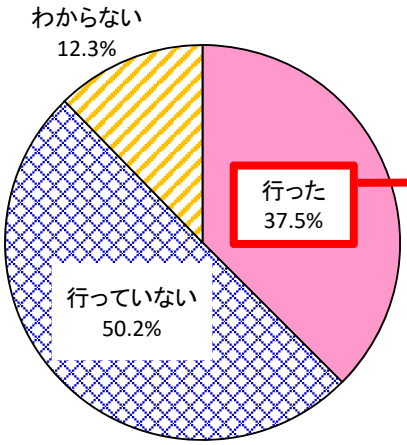


『取り付けている』
77.2%

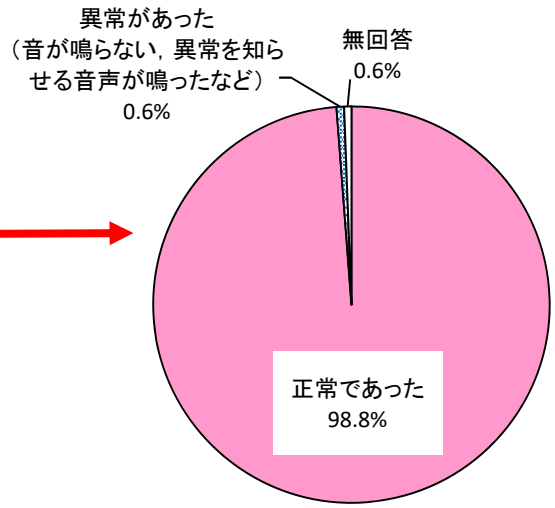
住宅用火災警報器を『取り付けている』と回答した方が77.2%となりました。

≪半年以内に住宅用火災警報器の作動確認を行ったか≫

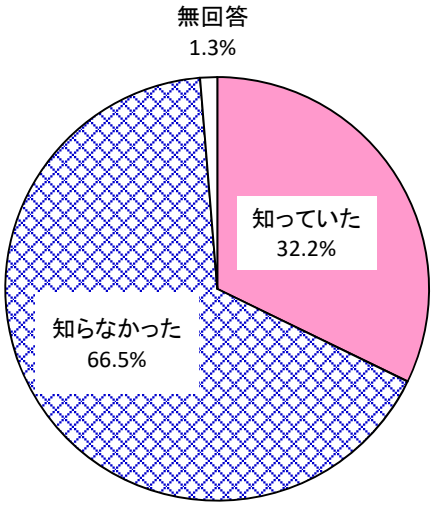
（n=432）



≪作動確認の結果≫ （n=162）



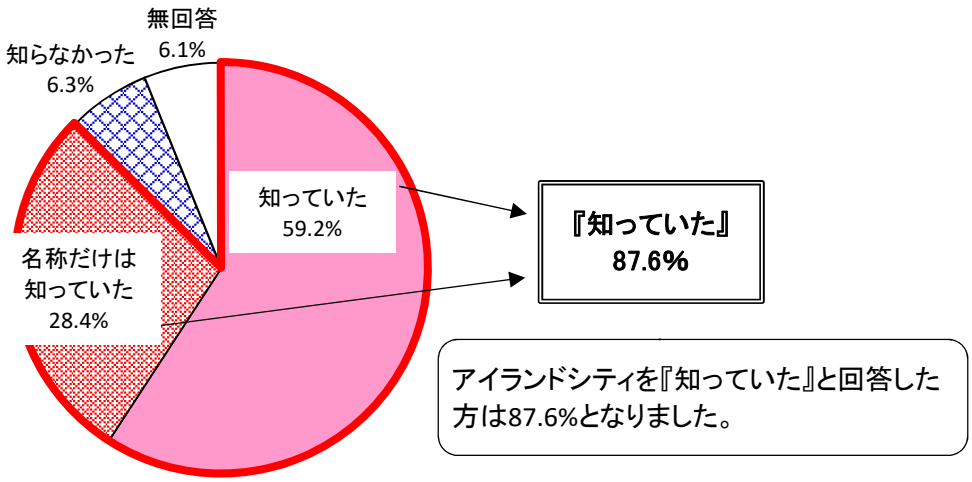
≪住宅用火災警報器は設置から10年での交換が推奨されていることを知っていたか≫



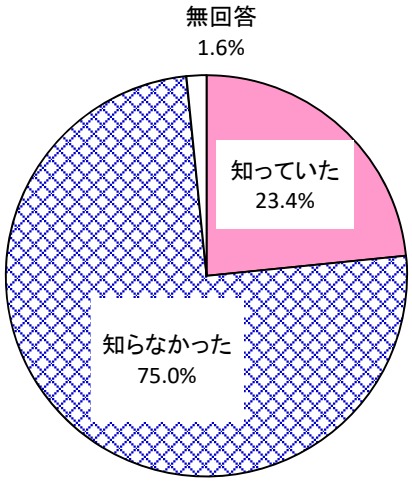
住宅用火災警報器を『取り付けている』と回答した方のうち，約半数の方（50.2%）がこの半年の間に作動確認を「行っていない」と回答しました。
また，住宅用火災警報器は10年での交換が推奨されていることを「知っていた」と回答した方は32.2%という結果になりました。

③「アイランドシティ」について（N=559）

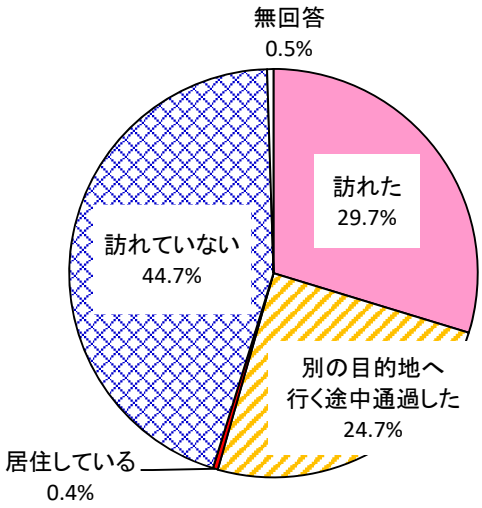
≪アイランドシティの認知度≫



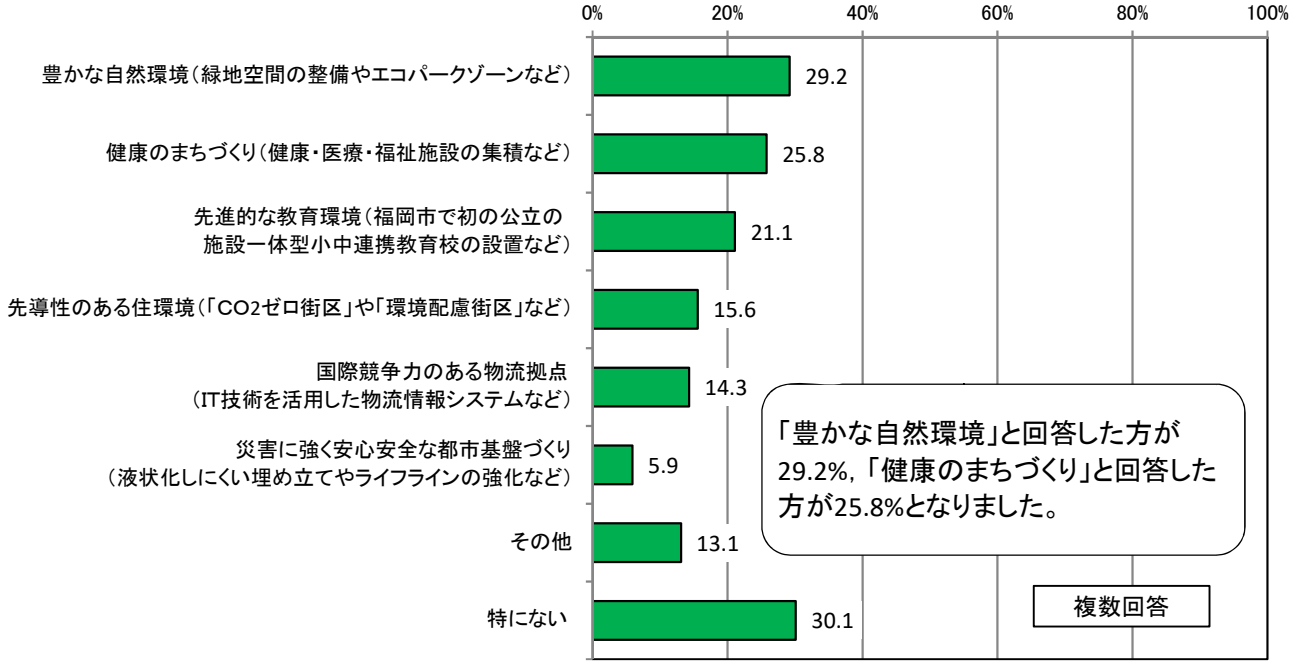
≪アイランドシティは海底を掘って出た土砂を有効活用した事業であることの認知度≫



≪過去１年間にアイランドシティを訪れたか≫

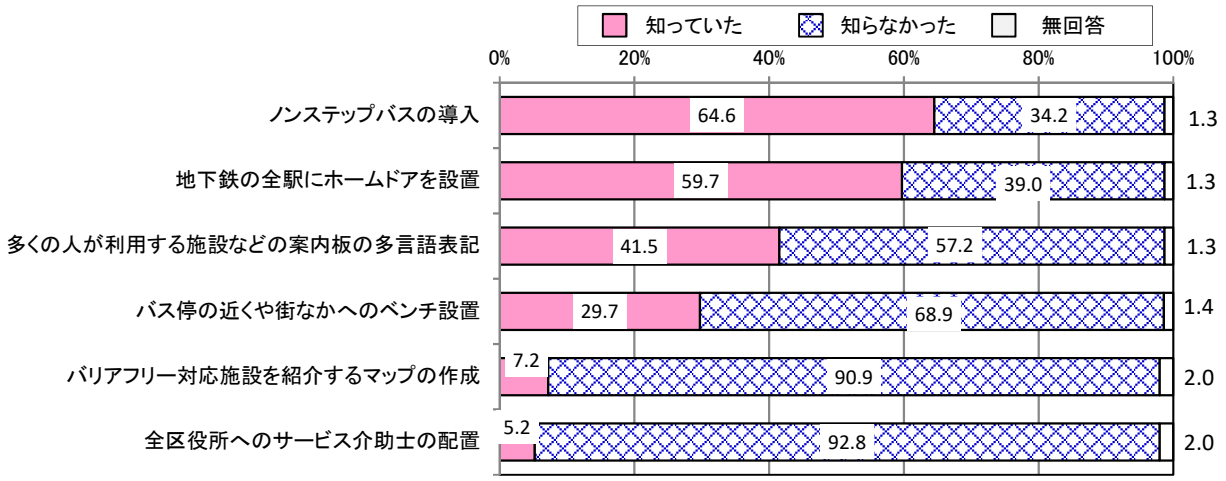


≪アイランドシティのイメージ≫



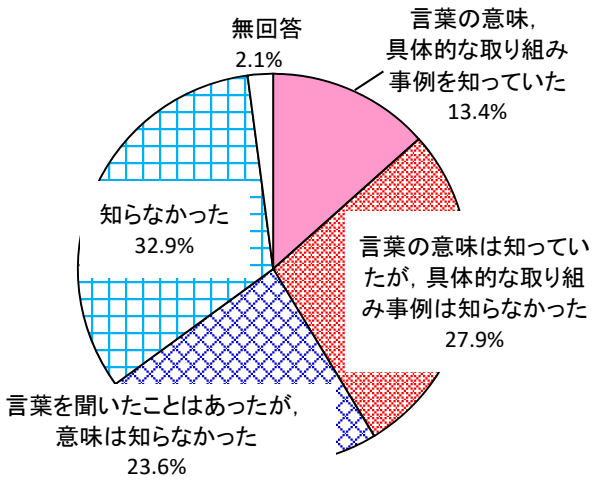
④「ユニバーサル都市・福岡」について（N=559）

≪福岡市が実施している取り組みの認知度≫

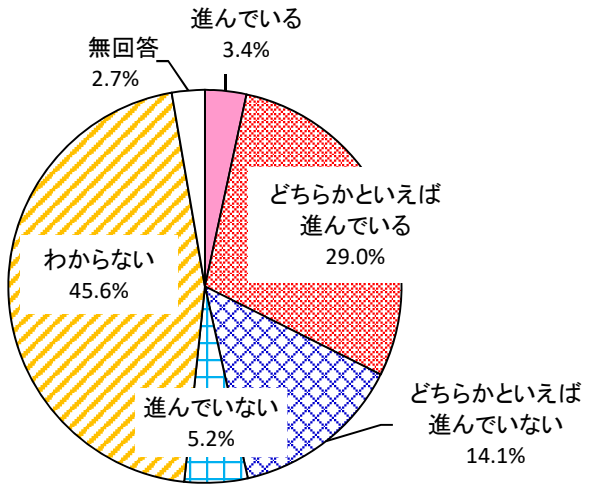


「知っていた」と回答した方の割合は，「ノンステップバスの導入」が64.6%と最も高く，次いで「地下鉄の全駅にホームドアを設置」が59.7%となりました。

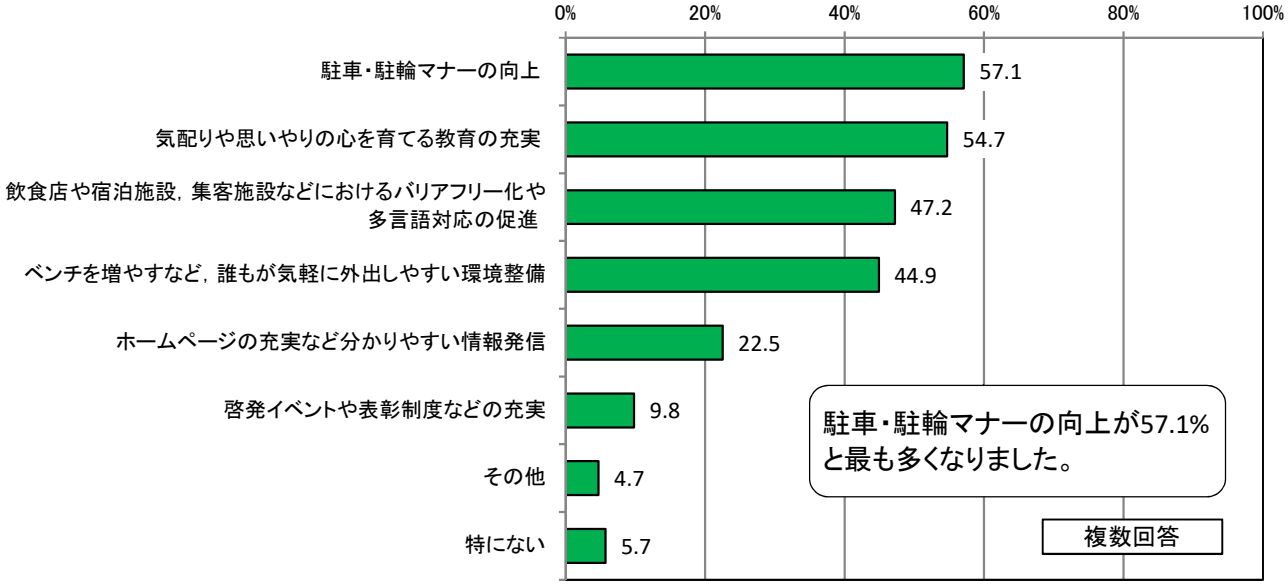
≪ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか≫



≪福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか≫



≪「ユニバーサル都市・福岡」を実現するため，より充実させる必要があると思う取り組み≫



平成３０年度

第６回市政アンケート調査

■調査期間　　平成 30 年 10 月 25 日～ 11 月 8 日
■調査対象者数　623 人
■回答者数　　559 人
■有効回答率　　89.7%

〔テーマ・担当課〕

１．「家庭ごみ」について
（担当課：環境局　資源循環推進課　循環型社会計画課）

２．「住宅用火災警報器」について
（担当課：消防局　予防課）

３．「アイランドシティ」について
（担当課：港湾空港局　事業管理課）

４．「ユニバーサル都市・福岡」について
（担当課：総務企画局　企画調整部）

５．市政アンケート調査実施後アンケート
（担当課：市長室　広聴課）

○ご記入いただいた個人情報は，市政アンケート調査の集計のために利用した上で，個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると，皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので，**提出期限は厳守** いただきますようお願いいたします。

調査協力員番号		お名前	

※　調査協力員番号は 封筒の宛名シール に記載しております。
（　返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。）

（提出期限）１１月８日（木）までにポストに投函してください。

≪ 「家庭ごみ」についておたずねします ≫

福岡市では，市民の皆さまや事業者の自主的・自発的な取り組みを行政が支援することにより，環境保全と都市の発展を踏まえた「福岡式循環型社会システムの構築」を目指しています。
福岡市の人口が増加を続ける中で，ごみ問題の解決に向けて効果的な施策を検討し，実施していく必要性があることから，市民の皆さまのごみ減量・リサイクルに関する考え方や行動についておたずねします。

問１　あなたは，ごみ減量・リサイクルに関心がありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	関心がある	43.3
２	どちらかといえば関心がある	47.4
３	どちらかといえば関心がない	6.4
４	関心がない	1.4
無回答		1.4

問１－１　≪ 問１で「１」「２」と回答した方におたずねします。≫
どのようなことに関心がありますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝507

１	ごみの分別の仕方	71.0
２	自宅のごみの減量方法	63.3
３	生ごみの処理方法（堆肥化など）	29.6
４	地域で取り組んでいる集団回収などの資源物回収活動	49.7
５	スーパーなど民間事業者が取り組んでいる資源物回収活動	46.9
６	フリーマーケットやリユースショップなどの情報	19.1
７	資源物が回収されてから再製品化されるまでの流れ	33.9
８	清掃工場や最終処分を行う埋立地の状況	25.0
９	その他	1.6

問１－２　≪ 問１で「３」「４」と回答した方におたずねします。≫
関心がない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。
n＝44

１	ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから	38.6
２	今までのライフスタイルを変えたくないから	31.8
３	自分一人が努力しても影響がないと思うから	15.9
４	自分の出すごみについては，処理料金を負担しているから	11.4
５	企業や行政が取り組むべきだと思うから	6.8
６	その他	22.7
無回答		4.5

ごみの減量のためには，①ごみを減らす取り組み**「リデュース（Reduce）」**，②繰り返し使う取り組み**「リユース（Reuse）」**，③再生利用する取り組み**「リサイクル（Recycle）」**が必要です。この３つの取り組みを総称して，それぞれの頭文字「Ｒ」をとって**「３Ｒ（スリーアール）」**と呼んでいます。リデュース → リユース → リサイクルの順番で取り組むことが重要です。

≪ すべての方におたずねします。≫

問２　「3R（スリーアール）」の３つの言葉のうち，あなたが意味を知っていた言葉はどれですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	リデュース（マイバッグ持参などのごみを減らす取り組み）	57.6
2	リユース（詰替え商品などを繰り返し使う取り組み）	65.7
3	リサイクル（びん・ペットボトルを分別するなどの再生利用する取り組み）	91.8
4	どれも知らなかった	5.5
無回答		0.7

問３　最近１年間，あなたのご家庭では，ごみ減量・リサイクル（3R）に取り組んでいますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	取り組んでいる	33.8
2	どちらかといえば取り組んでいる	50.4
3	どちらかといえば取り組んでいない	8.8
4	取り組んでいない	4.5
5	わからない	1.1
無回答		1.4

問３－１　≪ 問３で「１」～「３」と回答した方におたずねします。 ≫
あなたは，ごみ減量・リサイクル（３Ｒ）のためにどのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝520

1	過剰包装を断ったり，簡易包装の商品を購入している	55.6
2	計画的な買い物を心掛け，必要以上の商品は買わないようにしている	40.6
3	缶飲料やペットボトル飲料などをできるだけ購入しないようにしている	16.2
4	買い物の際は，レジ袋を断っている	68.5
5	詰め替え用製品を買うようにしている	79.0
6	再生品を買うようにしている	12.1
7	食べ残しをしないなど，できるだけ生ごみを出さないようにしている	54.4
8	生ごみは水分を絞って出している	46.7
9	水筒などのマイボトルやマイ箸など，繰り返し使えるものを持ち歩いている	46.9
１０	不要になった服や古本をできるだけ知り合いに譲ったり，リサイクルショップやフリーマーケットを利用したりしている	34.8
１１	地域で行われている集団回収に古紙（新聞紙や段ボールなど）を出している	60.0
１２	区役所や地域の回収ボックスに古紙を出している	23.8
１３	その他	3.1
無回答		0.2

≪ すべての方におたずねします。≫

問４　あなたは，古紙（使い終わった紙）をどのようにして出していますか。（１）～（３）のそれぞれの項目について，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

	集団回収や、紙リサイクルボックス、校区紙リサイクルステーションでの古紙回収に出している	区役所・市民センターに設置されている資源物回収ボックスに持ち込んでいる	マンションなどに設置してあるごみ箱に出している	「燃えるごみ」として週２回の収集日に出している	新聞社が実施している新聞紙回収に出している	その他の方法で出している	無回答
（１）新聞（折り込みチラシ含む）	54.2	4.8	7.0	20.8	13.6	4.5	4.7
（２）段ボール	66.9	8.2	5.2	15.7		5.0	3.6
（３）雑がみ※	44.2	6.3	6.3	46.9		3.4	3.2

１つでも「４」と回答した方は問４－１へ

※「雑がみ」とは，雑誌，本，お菓子の箱，ティッシュペーパーの箱，ラップやトイレットペーパーの紙芯，ハガキ，封筒，チラシ（新聞折り込み以外），パンフレット，包装紙などです。

問４－１　≪ 問４で１つでも「４」と回答した方におたずねします。≫

古紙を燃えるごみとして出す理由は何ですか。（１）～（３）のそれぞれの項目で，あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

※問４で「４」と回答した（１）～（３）の該当する項目のみお答えください。
例えば，問４で「４」と回答したものが『（３）雑がみ』のみである場合は，問４－１では『（３）雑がみ』についてのみ回答してください。

		燃えるごみ以外での出し方がわからないから	重いので集団回収やリサイクルボックスに持っていくことが困難だから	集団回収などが、どこで行われているか知らないから	集団回収などがいつ行われているか知らないから	「燃えるごみ」として出したほうが楽だから	リサイクル可能な紙の種類がわからないから	その他	無回答
（１）新聞（折り込みチラシ含む）	n＝116	16.4	11.2	11.2	12.9	53.4	8.6	20.7	2.6
（２）段ボール	n＝88	19.3	18.2	17.0	13.6	48.9	4.5	13.6	1.1
（３）雑がみ	n＝262	29.0	3.4	10.3	9.5	51.9	18.7	18.7	1.5

【雑がみをリサイクルしよう！】
燃えるごみの約３割を紙ごみが占めており，雑がみが多く混入しています。
雑誌などの大きな雑がみはまとめてひもでしばって，小さな雑がみは紙袋に入れて散らばらないようにして，古紙回収に出し，リサイクルしましょう。

≪ すべての方におたずねします。≫

問５　福岡市では，雑がみ回収袋（紙袋）や自宅にある紙袋に雑がみを集めて，集団回収やリサイクルボックスに持ち込んでリサイクルすることができます。あなたは，紙袋を使った雑がみのリサイクルに取り組みたいと思いますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

1	すでに取り組んでいる	23.8
2	取り組みたいと思う	54.9
3	取り組みたいと思わない	8.8
4	わからない	11.1
無回答		1.4

雑がみ回収袋

雑がみ回収袋（紙袋）は，区役所や市民センターなどの資源物回収ボックスで配布しています。

問６　あなたは，自宅でペットボトルを出す際，どのようにして出していますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

1	空きびん・ペットボトル用のごみ袋で出している	61.0
2	スーパーマーケットや地域の回収ボックスに持ち込んでいる	42.8
3	燃えるごみ用のごみ袋で出している	6.3
4	燃えないごみ用のごみ袋で出している	2.5
5	その他	1.8
無回答		0.9

問６－１　≪ 問６で「１」「２」と回答した方におたずねします。≫
あなたは，ペットボトルを空きびん・ペットボトル用のごみ袋や回収ボックスで出す際，どのような処理をして出していますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n=516

1	ラベルのペットボトルリサイクルマークを確認して出している	46.7
2	キャップを外して出している	87.4
3	ラベルを外して出している	73.3
4	中をすすいで出している	83.5
5	横に平たくつぶして出している	57.2
6	１～５の処理をせずにそのまま出している	2.7
7	その他	0.8

≪ すべての方におたずねします。 ≫

問７　「食品ロス」とは，食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。あなたは，「食品ロス」という言葉を知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　どのようなものか知っていた	64.6
２　聞いたことはあったが，どのようなものかは知らなかった	20.6
３　聞いたこともなく，どのようなものかも知らなかった	14.0
無回答	0.9

問８　あなたのご家庭では，まだ食べられる食品や本来は食べられたはずの食品を捨ててしまうことがありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　よくある	2.5
２　ときどきある	38.5
３　あまりない	34.3
４　ほとんどない	24.2
無回答	0.5

問８－１　≪ 問８で「１」「２」と回答した方におたずねします。≫
まだ食べられる食品や本来は食べられたはずの食品を捨ててしまう理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝229

１　買い過ぎてしまったから	11.4
２　作り過ぎて余ったから	22.3
３　消費期限※を過ぎたから	72.1
４　賞味期限※を過ぎたから	38.9
５　保管中に傷んでしまったから	59.4
６　好みではない物をもらったから	5.2
７　おいしくなかったから	17.9
８　買ったことや家にあることを忘れていたから	23.6
９　その他	3.5
無回答	0.4

※【消費期限と賞味期限】
「消費期限」とは「安全に食べられる期限」のことで，消費期限を過ぎたら食べない方が良いとされています。
一方，「賞味期限」は「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」を示したものです。記載された保存方法を守っていれば，賞味期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるというわけではありません。

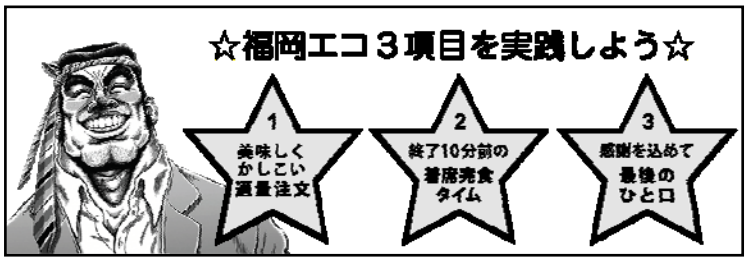
≪ すべての方におたずねします。≫

問９　「食品ロス」を減らすためにどのような工夫をしていますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

１	買い物の前に家にあるものを確認している	57.1
２	買い物リストを作っている	29.3
３	買い過ぎないようにしている	62.4
４	量り売りやばら売りを利用している	10.7
５	必要な分だけ作るようにしている	41.7
６	食材を使い切るようにしている	53.3
７	食べ残しをしないようにしている	59.4
８	作り過ぎた物は冷凍保存している	48.1
９	食べない物は人にあげるようにしている	10.7
１０	賞味期限を過ぎても，風味を確認して食べている	45.1
１１	生ごみコンポストなどで堆肥にしている	2.1
１２	その他	1.3
無回答		0.7

問１０　福岡市では，外食や宴会の際に発生する食べ残しをゼロにすることで廃棄されるごみを減らす「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」を実施しています。あなたは，この取り組みやその内容を知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○を付けてください。

１	取り組みも内容も知っていた	16.8
２	取り組みは知っていたが，内容は知らなかった	18.2
３	取り組みも内容も知らなかった	64.4
無回答		0.5



啓発キャラクター
宴会部長　完食一徹

問１０－１　≪ 問１０で「１」「２」と回答した方におたずねします。≫
あなたは，「もったいない！食べ残しをなくそう福岡エコ運動」をどこで知りましたか。
あてはまるものを１つだけ選び，番号に○を付けてください。　n＝196

１	市政だより	25.5	６	ポスターなどの掲示物（飲食店を除く）	5.1
２	福岡市ホームページ	3.6	７	デジタルサイネージ（電子看板）	－
３	新聞・雑誌・フリーペーパー	10.2	８	家族，友人，知人など	5.6
４	テレビ	23.0	９	その他	1.0
５	飲食店	9.7	無回答		16.3

【食品ロスを減らそう】
日本の食品ロスの量は年間６４６万トン（平成２７年度推計）といわれており，これを国民１人あたりに換算すると，毎日お茶碗１杯分の量のご飯を捨てていることになります。食品ロスを減らすためには，「買い過ぎない」「食べ残さない」など，一人一人が日頃から意識して行動することが大切です。

≪ 「住宅用火災警報器」についておたずねします ≫

平成２９年中に住宅火災で亡くなられた方は全国で約千名にものぼり，亡くなる原因の約４６％は，「逃げ遅れ」です。

住宅火災により亡くなる方を減らすため，火災で発生する煙または熱を自動的に感知し警報する「住宅用火災警報器」の設置が全国一律で義務付けられています。福岡市では平成２１年６月１日からすべての住宅で，住宅用火災警報器を取り付けることが条例で定められています。

福岡市消防局では，住宅用火災警報器の設置促進と併せて，適切な維持管理についても広報活動を行っています。

今回は市民の皆さまの住宅用火災警報器に関する認識をお伺いし，より効果的な設置促進・維持管理の広報活動につなげたいと考えています。

問１１　あなたのお住まいでは，住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所※1 に取り付けていますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

※１　設置が義務付けられている場所は，全ての寝室と，寝室が２階以上にある場合には階段部分などです。

１　すべて取り付けている	62.4
２　一部取り付けている	14.8
３　自動火災報知設備※2 などが設置されており，取り付けは免除となっている	8.6
４　取り付けていない	13.6
無回答	0.5

※２　自動火災報知設備とは，建物全体に感知器などが設置され，どこか１カ所の感知器が感知した場合，建物全体にベルなどで警報が発せられる消防用設備です。

問１２　≪ 問１１で「１」「２」と回答した方におたずねします。≫
住宅用火災警報器は定期的な作動確認を行う必要があります。あなたはこの半年の間に，住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。　n＝432

１　行った	37.5
２　行っていない	50.2
３　わからない	12.3

問１２－１　≪ 問１２で「１」と回答した方におたずねします。≫
住宅用火災警報器の作動確認の結果はどうでしたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。　n＝162

１　正常であった	98.8
２　異常があった（音が鳴らない，異常を知らせる音声が鳴ったなど）	0.6
無回答	0.6

※　住宅用火災警報器は，作動確認を行うことで異常の有無を確認し，「電池切れや故障などにより火災時に警報が鳴らない」ということを防ぐことができます。

問１３　≪ 問１１で「４」と回答した方におたずねします。≫
取り付けていない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

n＝76

１	設置が義務であることを知らなかったから	43.4
２	取り付ける場所を知らなかったから	14.5
３	取り付ける方法がわからないから	21.1
４	自力で取り付けることができなかったから	18.4
５	どこで販売しているか知らないから	13.2
６	故障して取り外したから	2.6
７	取り付けなくても罰則がないから	10.5
８	面倒だから	13.2
９	その他	23.7
無回答		1.3

≪ すべての方におたずねします。≫

問１４　住宅用火災警報器は，本体内部の電子部品が劣化する恐れがあるため，設置から１０年を経過した機器本体の交換が推奨されています。あなたはそのことを知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	知っていた	32.2
２	知らなかった	66.5
無回答		1.3

問１５　あなたは住宅用火災警報器を取り替えたことがありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	取り替えたことがある	19.7
２	１０年経過しているが取り替えていない	15.2
３	１０年経過していないので取り替えていない	44.7
４	住宅用火災警報器を取り付けていない	15.6
無回答		4.8

住宅用火災警報機について

「住宅用火災警報器」は取り付けた後も，正常に作動するよう定期的なお手入れや作動確認が必要です。

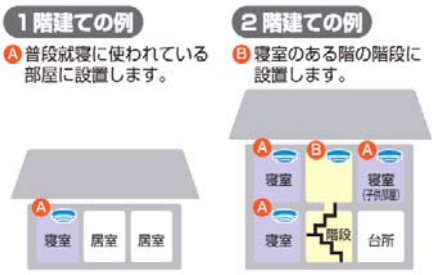
長く使用している場合は，電子部品の寿命や電池切れなどで，火災を感知しなくなることがありますので，１０年を目安に機器本体の交換をおすすめします。

※住宅用火災警報器は設置を免除できる場合があります。

詳しくは最寄りの消防署へお尋ねください。

受付時間は平日午前９時から午後５時までです。

東消防署	683-0119	博多消防署	475-0119
中央消防署	762-0119	南消防署	541-0219
城南消防署	863-8119	早良消防署	821-0245
西消防署	806-0642	消防局本部	725-6611



福岡市消防局マスコットキャラクター
ファイ太くん

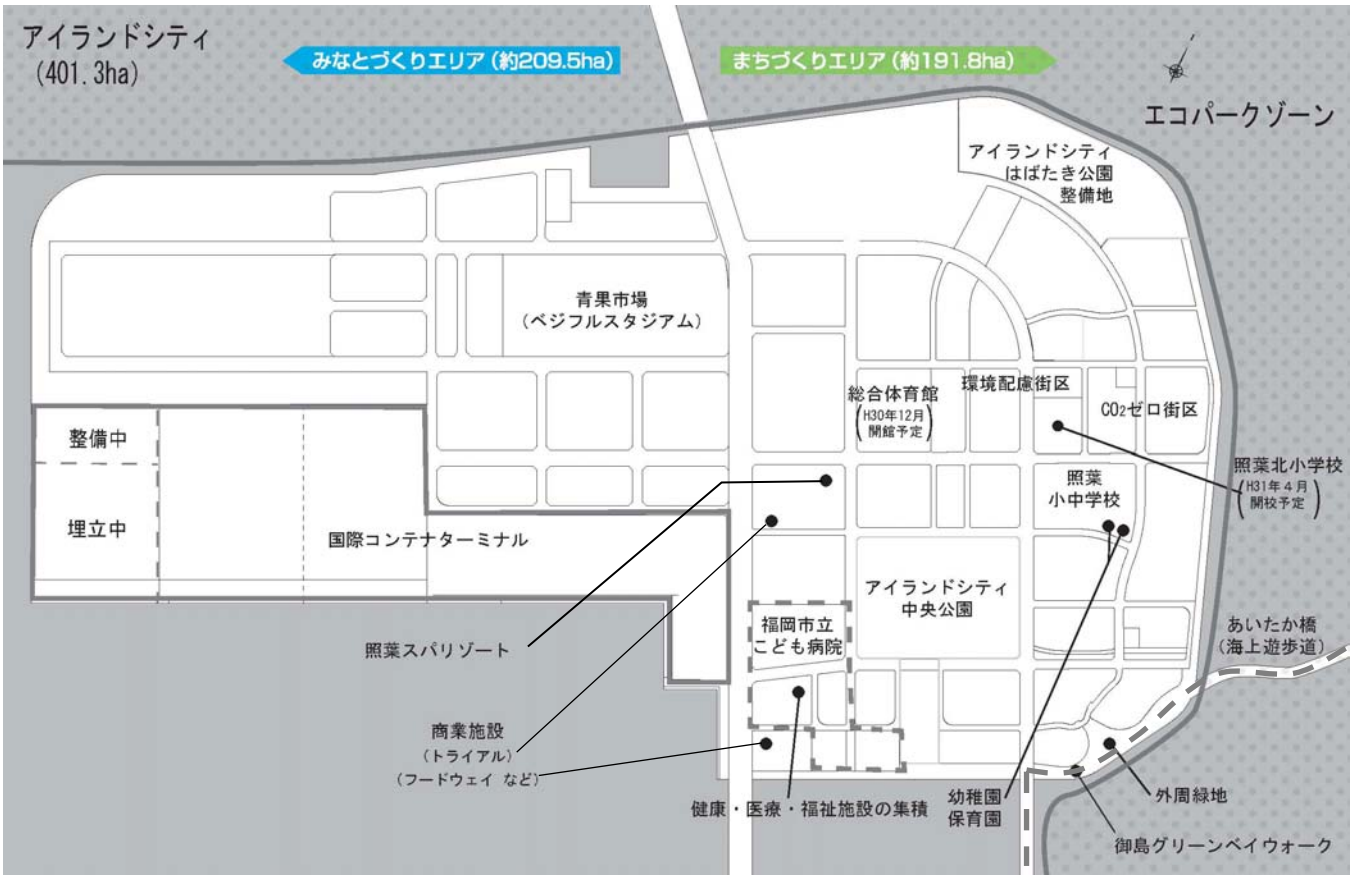
≪ 「アイランドシティ」についておたずねします ≫

博多港は，食料品や衣料といった生活用品，建設資材，燃料などさまざまな物資を取り扱い，福岡市の経済と市民生活を支える重要な役割を担っています。

しかし，博多港の水深は３～１０メートルと比較的浅く，昨今の船舶大型化に対応するために海底を深く掘り，航路を整備・維持することが必要です。

アイランドシティ整備事業は，こうした航路整備の際に生じる土砂や地下鉄工事などで生じる公共残土などを活用して約４００ヘクタールの土地を生みだし，港湾機能の強化や快適な住環境整備，新しい産業の集積などを図る事業です。

福岡市では，アイランドシティについて市民の皆さまにもっと知っていただくために，広報事業を実施しています。これらの事業の充実を図るため，今回のアンケート調査結果を活用させていただきたいと考えております。



問１６　あなたはアイランドシティについて知っていましたか。あてはまるものを<u>１つだけ</u>選び，番号に○をつけてください。

１　知っていた	59.2
２　名称だけは知っていた	28.4
３　知らなかった	6.3
無回答	6.1

問１７　アイランドシティ整備事業は大型船舶が行き来できるように，海底を掘って出た土砂（しゅんせつ土砂）を有効活用した事業であることを知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　知っていた	23.4
２　知らなかった	75.0
無回答	1.6

問１８　あなたは過去１年間に，アイランドシティを訪れたことがありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１　訪れた	29.7
２　別の目的地へ行く途中通過した	24.7
３　居住している	0.4
４　訪れていない	44.7
無回答	0.5

問１８－１　≪ 問１８で「１」と回答した方におたずねします。≫
あなたが，アイランドシティで訪れた場所はどこですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝166

１　アイランドシティ中央公園（多目的広場，体験学習施設ぐりんぐりんなど）	32.5
２　青果市場（ベジフルスタジアム）	31.9
３　御島グリーンベイウォーク（あいたか橋，外周緑地など）	13.3
４　病院，薬局，高齢者福祉施設	24.7
５　幼稚園，保育園，小中学校	2.4
６　照葉スパリゾート	28.3
７　商業施設（フードウェイ，トライアルなど）	41.0
８　住宅のモデルルーム	3.0
９　その他	9.6
無回答	1.2

問１８－２　≪ 問１８で「１」と回答した方におたずねします。≫
あなたは，どのような交通手段でアイランドシティを訪れましたか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。　n＝166
※アイランドシティに直接乗り入れている交通手段に限ります

１　徒歩	6.0
２　自転車	4.8
３　バイク	3.6
４　車	72.9
５　タクシー	1.8
６　路線バス	11.4
７　施設などの送迎バス	6.6
８　その他	1.2
無回答	10.2

≪ すべての方におたずねします。≫

問１９　最近あなたがアイランドシティの情報に接したのはどういう機会（情報源）ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

１	市政だより	36.7
２	福岡市ホームページ	2.9
３	福岡市が運営しているアイランドシティ専用ホームページ※	0.9
４	２，３以外のホームページ	3.4
５	Twitter（ツイッター）やFacebook（フェイスブック）などのソーシャルメディア	1.3
６	新聞やテレビ，ラジオなどの報道・番組	36.9
７	新聞の折り込みチラシ，テレビCM	18.1
８	雑誌，フリーペーパー	7.2
９	情報プラザ，区役所の情報コーナー	2.9
１０	公共交通機関の掲示板など（ポスター，車内広告など）	7.9
１１	知人や家族から聞いた	18.2
１２	その他	3.8
１３	情報に接していない	21.6
無回答		1.3

※福岡市では，以下２つのアイランドシティ専用ホームページを作成しています。
ぜひご覧ください。なお，スマートフォンなどのバーコードリーダー機能で読み込むと，サイトにアクセスできます。

■福岡アイランドシティホームページ

アイランドシティ　検索

■アイランドシティ魅力紹介サイト Wonderful One

アイランドシティ　魅力　検索

問２０　あなたは，アイランドシティにどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

１	豊かな自然環境（緑地空間の整備やエコパークゾーンなど）	29.2
２	先導性のある住環境（「CO_2ゼロ街区」や「環境配慮街区」など）	15.6
３	先進的な教育環境（福岡市で初の公立の施設一体型小中連携教育校の設置など）	21.1
４	健康のまちづくり（健康・医療・福祉施設の集積など）	25.8
５	国際競争力のある物流拠点（IT技術を活用した物流情報システムなど）	14.3
６	災害に強く安心安全な都市基盤づくり（液状化しにくい埋め立てやライフラインの強化など）	5.9
７	その他	13.1
８	特にない	30.1
無回答		0.5

問２１　アイランドシティで行われている下記の取り組みについて知っていましたか。（１）～（６）のそれぞれの項目について，あてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

	知っていた	一部知っていた	知らなかった	無回答
（１）豊かな自然環境 ○住宅街や道路沿いなど，まち全体に緑地空間の整備を行っている。 ○海沿いの外周緑地を含むエコパークゾーンでは自然環境の保全・創造の取り組みや，野鳥等の自然とのふれあいを楽しむアイランドシティはばたき公園の整備を進めている。	13.2	33.1	52.8	0.9
（２）先導性のある住環境 ○太陽光発電などの自然エネルギーの積極的な活用や，建物の高断熱化など，「CO_2ゼロ街区」や「環境配慮街区」において先導的モデルとなるエコなまちづくりを進めている。	7.3	22.4	69.4	0.9
（３）先進的な教育環境 ○福岡市で初となる公立の施設一体型小中連携教育校を設立。 ○９カ年を見通した教育カリキュラムの編成や，中学校の教員が小学校で授業を行うなどの取り組みを実施している。	15.4	22.9	61.0	0.7
（４）健康のまちづくり ○子どもから高齢者まで，誰もが安心していきいきと暮らせる健康のまちづくりをめざし，高度医療を担う病院や特別養護老人ホームなどの福祉施設，健康づくり施設の立地が進んでいる。	14.0	33.5	51.5	1.1
（５）国際競争力のある物流拠点 ○国際コンテナターミナルにおける，荷役機械の電動化やＩＴ技術を活用した物流情報システムなど，高機能・高効率な最新鋭の設備などを整備している。	10.4	26.3	62.3	1.1
（６）災害に強く安心安全な都市基盤づくり ○粘土成分の多い土を用いた液状化しにくい埋め立て。 ○耐震性に優れた橋，電線類の地中化によるライフラインの強化など，安心・安全な都市基盤づくりを行っている。	5.5	18.6	74.6	1.3

問２２　アイランドシティの今後に期待することがありますか。あなたの考えに最も近いものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	これからの福岡市の発展を担う「みなとづくり」「まちづくり」による福岡市のイメージアップ	18.6
２	港湾機能の向上や企業誘致による雇用創出など経済波及効果	12.3
３	市全体のモデルとなるような，質の高い住環境整備	10.2
４	健康・医療・福祉関連分野の集積拠点形成による福岡市の活性化	14.0
５	自然災害に強いまちづくり・みなとづくり	12.2
６	その他	3.9
７	期待することはない	18.6
無回答		10.2

問２３　アイランドシティにどのような施設があればいいと思いますか。あてはまるものを３つまで選び，番号に○をつけてください。

１	飲食店・カフェ	29.9
２	交流するためのコミュニティスペース	14.8
３	ホテル	12.7
４	親水・緑地空間	19.0
５	運動場などスポーツ広場	27.7
６	テーマパーク	23.4
７	図書館・博物館などの文化施設	29.2
８	ショッピングモール	26.3
９	市民農園	7.9
１０	その他	4.7
１１	特にない	20.6
無回答		1.4

問２４　アイランドシティについてご意見などがありましたら，ご自由にお書きください。

≪「ユニバーサル都市・福岡」についておたずねします≫

福岡市は，10 年後には市民の４人に１人が 65 歳以上になると予想されていますが，その一方で，子どもを持つ世帯が増え，市内に居住する外国人も増えるなど，多様化が進んでいます。

さまざまな立場の人にやさしいまちは，みんなにとって住みやすいまちです。福岡市では，誰もが思いやりを持ち，すべての人にやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」の実現をめざして，ハード・ソフトの両面から取り組みを進めています。市民の皆さまのご意見をお聴きし，今後の取り組みに活かしていきたいと考えています。

問２５　福岡市では，「ユニバーサル都市・福岡」の普及・啓発を図るため，ロゴマークを作成し，市内のさまざまな場所に掲出しています。あなたは，このマークを見たことがありますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○を付けてください。

１　見たことがある	36.3
２　見たことがない	61.7
無回答	2.0

ユニバーサル都市・福岡ロゴマークについて

「ユニバーサル」の文字に隠れている「サル」の顔の中に，やさしさの象徴となる「ハートマーク」を，その中に人を表す「ｉ」を配置し，人がやさしさに包まれていることを表しています。

問２６　「ユニバーサル都市・福岡」の実現に向け，福岡市が実施している下記の取り組みについて知っていましたか。（１）～（６）のそれぞれの項目についてあてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

おさるのベンチ

サービス介助士

	知っていた	知らなかった	無回答
（１）　地下鉄の全駅にホームドアを設置	59.7	39.0	1.3
（２）　ノンステップバスの導入	64.6	34.2	1.3
（３）　バス停の近くや街なかへのベンチ設置	29.7	68.9	1.4
（４）　バリアフリー対応施設を紹介するマップの作成	7.2	90.9	2.0
（５）　多くの人が利用する施設などの案内板の多言語表記	41.5	57.2	1.3
（６）　全区役所へのサービス介助士の配置	5.2	92.8	2.0

サービス介助士について

「おもてなしの心」と「介助技術」を学び，高齢者や身体が不自由な方々に安心していただきながらお手伝いができる人を育成するための資格です。

ユニバーサルデザインについて
　ユニバーサルデザインの理念とは，年齢や性別，国籍，障がいの有無などに関わらず，すべての人が自由に快適に利用でき，行動できるような思いやりあふれる配慮を，まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で，ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方です。

問２７　あなたは，ユニバーサルデザインについてどの程度知っていましたか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○を付けてください。

１	言葉の意味，具体的な取り組み事例を知っていた	13.4
２	言葉の意味は知っていたが，具体的な取り組み事例は知らなかった	27.9
３	言葉を聞いたことはあったが，意味は知らなかった	23.6
４	知らなかった	32.9
無回答		2.1

問２８　福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。あてはまるものを１つだけ選び，番号に○をつけてください。

１	進んでいる	3.4
２	どちらかといえば進んでいる	29.0
３	どちらかといえば進んでいない	14.1
４	進んでいない	5.2
５	わからない	45.6
無回答		2.7

問２９　「ユニバーサル都市・福岡」を実現するために，今よりも充実させる必要があると思う取り組みは何ですか。あてはまるものをすべて選び，番号に○をつけてください。

１	気配りや思いやりの心を育てる教育の充実	54.7
２	ホームページの充実など分かりやすい情報発信	22.5
３	啓発イベントや表彰制度などの充実	9.8
４	駐車・駐輪マナーの向上	57.1
５	ベンチを増やすなど，誰もが気軽に外出しやすい環境整備	44.9
６	飲食店や宿泊施設，集客施設などにおけるバリアフリー化や多言語対応の促進	47.2
７	その他	4.7
８	特にない	5.7
無回答		2.0

市政アンケート調査実施後アンケート

このたびは平成３０年度市政アンケート調査（計６回）にご協力いただき，誠にありがとうございました。
今後の事業の参考にしたいと思いますので，アンケート調査を終えての皆さまのご意見，ご感想をおたずねします。

問３０　平成３０年度市政アンケート調査協力員としてご協力いただいたことにより，市政への関心を高めたり理解を深めたりすることができましたか。（１）（２）のそれぞれの項目について，あてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

	できた	どちらかといえばできた	どちらかといえばできなかった	できなかった	変わらない	無回答
（１）関心を高めることができた	45.3	49.2	1.4	0.4	1.6	2.1
（２）理解を深めることができた	33.8	56.2	3.6	0.5	2.3	3.6

問３１　市政アンケート調査の調査回数と設問数についてどう思いましたか。（１）（２）のそれぞれの項目について，あてはまるものを１つずつ選び，番号に○をつけてください。

	多い	どちらかといえば多い	ちょうど良い	どちらかといえば少ない	少ない	無回答
（１）調査回数 （1 か月に１回 計６回）	2.0	14.0	79.6	2.0	0.4	2.1
（２）設問数 （1 回あたり 30 問程度）	4.1	26.5	64.8	2.0	0.4	2.3

問３２　市政アンケート調査についてのご意見やご感想などをご自由にお書きください。

＜市政アンケート調査結果報告（概要版）について＞

市政アンケート調査の結果について，各テーマ３～５問程度の調査結果をグラフで表した「市政アンケート調査結果報告（概要版）」を作成し，福岡市ホームページに掲載する予定です。
この「市政アンケート調査結果報告（概要版）」をご希望の方には郵送いたしますので，下記項目の番号に○をつけてください。（発送は平成３１年３月ごろになります。）

１　市政アンケート調査結果報告（概要版）の送付を希望する	60.5
２　市政アンケート調査結果報告（概要版）の送付を希望しない	30.8
無回答	8.8

※未記入の場合は「送付を希望しない」と判断させていただきます。

お忙しい中，調査にご協力いただき，ありがとうございました。
記入漏れや，誤りがないか再度確認の上，同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

性別

男性	44.9	女性	55.1

年齢

18～29 歳	14.1	30 代	16.6	40 代	18.8
50 代	14.0	60 代	17.5	70 代以上	19.0

職業

会社員・団体職員	34.7	公務員	3.2	契約社員・派遣社員	6.3
パート・アルバイト	13.8	自営業	5.5	主婦・主夫	17.7
学生	3.9	無職	13.1	その他	1.8

行政区

東区	19.9	博多区	13.1	中央区	13.1	南区	17.9
城南区	8.4	早良区	14.0	西区	13.8		

居住年数

３年未満	9.8	３年以上５年未満	5.5	５年以上 10 年未満	11.3
10 年以上 20 年未満	15.6	20 年以上 30 年未満	18.6	30 年以上	39.2

居住形態

持家の戸建て	30.6	持家の集合住宅	27.5	借家の戸建て	2.9
借家の集合住宅	35.1	施設・社宅・寮	2.9	その他	1.1

平成30年度
福岡市市政アンケート調査報告書

平成31年3月

発行　福岡市市長室広聴課

〒810-8620
福岡市中央区天神一丁目8－1
電話　092（711）4067
FAX　092（733）5580
E-mail　kocho.MO@city.fukuoka.lg.jp